

1. 科目名 (単位数)	企業統治論 (非営利企業を含む) (2 単位)		3. 科目番号	SBMP3116
2. 授業担当教員	古市 吉輝			
4. 授業形態	講義を主にしながら質問、報告、討論の時間をつくり進める。	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	「経営学」や「経営戦略論」も履修することが望ましい。			
7. 講義概要	<p>1) 企業の健全な経営のため最も重要な機能は企業統治だといわれている。まず企業統治 (コーポレート・ガバナンス) とは何かについて理解を深める。</p> <p>2) 企業という場合、株式会社などの営利企業のほかに非営利企業(NPO 法人など)、最近では社会的企業と表現される企業があるが、株式会社を中心としつつ、各種の企業経営に共通の機能として企業統治機能の内容を解明する。</p> <p>3) 企業活動のグローバル化にともない、日本をはじめアメリカ、中国、韓国、ドイツなどの企業統治の特徴を具体的にとりあげ、国際化への知的対応を準備する。</p>			
8. 学習目標	将来、企業 (営利企業、非営利企業) へ就職したり、企業を設立、運営したり、企業と関係することが多いと思われ、そのような意味から学習の目標としては、1) 企業の立場から企業統治を考えるとともに、2) 企業の利害関係者 (ステイクホルダー) の立場から、株主、従業員、顧客、地域社会などの視点から考え、3) 数多くの具体的な事例をとりあげ、問題への認識を深めることを目標とする。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	講義でとりあげ学習した問題または関連するテーマについて課題を示し、それについてレポートを作成または報告する。			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 菊池著『現代企業論』中央経済社、2007。</p> <p>【参考書】 江川雅子著『現代コーポレートガバナンス』日本経済新聞社、2018。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 企業統治に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</p> <p>2. 経営学的な思考が身についたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。]</p> <p>1 授業への積極的参加 総合点の30%</p> <p>2 期末試験 総合点の40%</p> <p>3 課題レポート 総合点の30%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	将来、企業 (営利・非営利企業) への就職、企業の設立、企業の経営管理への参加などの機会を想定しながら学習することをおすすめしたい。そうすることによって学習が将来の夢の実現への準備となり、問題を真剣に考えられるようになるからである。授業の進展により授業内容に対象の変更がありえる。			
13. オフィスアワー	別途、お知らせする。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	1. 企業の責任と統治	事前学習	pp.1~3 を読み企業責任・企業統治の提起をまとめること。	
		事後学習	p.3 の企業行動の評価基準についてまとめること。	
第2回	2. 現代企業のステークホルダー関係	事前学習	p.9 の企業とステークホルダーを読みまとめること。	
		事後学習	企業の組織とステークホルダーについてまとめること。	
第3回	3. 企業の地域社会関係者	事前学習	p.16 の企業の地域社会関係の考え方を読みまとめること。	
		事後学習	p.24 の企業と地域社会を読みまとめること。	
第4回	4. 企業社会活動と企業統治責任の意味	事前学習	p.31 の企業社会的責任を読みまとめること。	
		事後学習	p.31 の企業行動と倫理的価値を読みまとめること。	
第5回	5. アジアにおける企業行動と経営倫理	事前学習	p.49 のシンガポールの贈収賄禁止政策を読みまとめること。	
		事後学習	p.57 国際的動向との関連を読みまとめること。	
第6回	6. 日本のコーポレートガバナンス	事前学習	p.65 の日本のコーポレートガバナンスを読みまとめること。	
		事後学習	日本の取締役会の特徴についてまとめること。	
第7回	7. コーポレートガバナンス論における問題の分析	事前学習	p.75 のイギリスにおける会社統治論を読みまとめること。	
		事後学習	p.77 のキャドベリー報告をまとめること。	

第8回	8. 現代企業の経営管理	事前学習	p.87 中小企業管理が直面する問題まとめること。
		事後学習	p.92 の新時代の経営理念についてまとめること。
第9回	9. 企業統治の国際比較	事前学習	p.97 企業統治と企業行動を読みまとめること。
		事後学習	p.107 の日本と中国のコーポレートガバナンスを読みまとめること。
第10回	10. 企業の所有構造の変化	事前学習	p.117 ヨーロッパ企業を読みまとめること。
		事後学習	p.127 企業成長方式の検討をまとめること。
第11回	11. 日本の企業合併とカルテルの特徴	事前学習	p.145 の日本の企業合併の特徴についてまとめること。
		事後学習	p.152 の市場経済と民営化についてまとめること。
第12回	12. 企業行動と政府規制	事前学習	p.171 の企業行動への規制を読みまとめること。
		事後学習	p.177 の企業に対する政府規制の研究課題をまとめること。
第13回	13. 非営利企業と企業統治	事前学習	社会福祉法人の組織と運営について調べる。
		事後学習	社会福祉法人のガバナンスについて整理する。
第14回	14. 福祉サービス組織のコンプライアンスとガバナンス	事前学習	コンプライアンスとガバナンスの定義を調べる。
		事後学習	福祉サービスのガバナンスについて整理する。
第15回	講義全体のまとめと課題	事前学習	営利企業と非営利企業の企業統治について整理すること。
		事後学習	企業統治についてまとめること。
期末試験			